

2009年度 事業報告

特定非営利活動法人

町田市学童保育クラブの会

I. 法人事業

1. 組織運営

1) 理事会

	日程	内容
第30回	5月31日	2009年度事業報告・決算、定期総会招集
第31回	6月16日	大戸のびっ子学童保育クラブ指定管理者応募について
第32回	11月15日	2009年度第一次補正予算、諸規定の整備
第33回	3月27日	2009年度第二次補正予算、2010年度事業計画・予算

2) 評議員会

評議員会は理事会の諮問機関としての役割を担うものであり、定期総会で選出した。評議員の構成が各保護者会であることから、保護者会との連携を重視し、懇談会を定期的に開催することで、評議員会の開催は行っていない。

次年度へむけて評議員会の役割と構成を見直し、実施に向けた検討を行う。

3) 事務局

事務局は、理事会の日常業務の執行機関として活動を行う機関である。4月から7月にかけて、会計決算事務および事業報告書等を作成し、定期総会を開催後、関係諸機関へ提出を行った。また、児童青少年課や関係契約会社との窓口の役割を果たす。

主任会等の会議に出席し、各クラブの状況を把握し、統括主任と共に、職員研修・教育を行う。人事考課制度の運用を図り、考課者研修を主催する。

大戸のびっ子学童保育クラブの指定管理者募集にあたり、理事会決議にもとづき、申請書を作成し、7月にプレゼンテーションを行う。

また、事務局会議を月1回開催し、法人組織の機関会議として様々な課題の検討を行った。

	内容
4月	委員会活動について、中期計画
5月	障がい児のバス停お迎え、委員会活動、新型インフルエンザ対応等
6月	障がい児のバス停お迎え、児童の与薬について、指定管理者募集
7月	障がい児のバス停お迎え、個人情報の取扱について、理事懇談会
8月	障がい児のバス停お迎え、人事、土曜日の職員体制、理事懇談会
9月	新型インフルエンザ対応、嘱託職員制度、人事、障がい児のお迎え
10月	新型インフルエンザ対応、オレンジリボン運動、非常勤研修等
11月	新型インフルエンザ、成瀬クラブ移転問題、利用者アンケート結果
12月	新型インフルエンザ、定期点検報告、中期計画、委員会活動
1月	事業計画について、職員募集、施設長会報告
2月	情報交換会報告、ホームページリニューアルについて
3月	事業計画について、都型学童クラブ、のびっ子クラブ引継について

4) 各種委員会

(1) 調査研究委員会

①利用者アンケート

7月に全クラブに利用者アンケートを配布し、集計を行った。アンケート項目、集計方法等を検討し、集計後は委員会にて当該クラブの職員とともに分析を行った。回収率は平均 59%であり、全体的に評価が高い項目は指導員の専門知識・態度・対応・子どもとのコミュニケーション等であった。評価が低かった項目は行事の回数等の保護者の負担感および施設の安全・防犯対策、施設の清潔感等に関する内容であった。分析結果は各クラブでの業務改善にむけた資料として活用をした。

また、今年度の回収率は6割弱であり、次年度はさらに回収率の向上に努める。

②大規模化問題

2007年度に作成した「町田市学童保育設置基準(案)」をもとに、町田市の学童保育の課題として大規模化問題解消のために調査および研究を行った。大規模クラブの問題点を保育環境から分析し、町田市の子ども人口の推移・保護者の就労率・学童保育クラブの利用率の推移等の情報収集を行った。

また、町田市の「中期経営計画重点政策プラン」(2007～2011年度)では、学童保育の整備を目標にかかげ、①100名を超える児童が入所し、大規模化しているクラブの増築②全ての小学校区に学童保育クラブを整備することとしているが、2012年度以降の政策を作成するにあたり、パブリックコメントを募集することが想定される。大規模化問題解消のための意見書を作成し、提出することを目標に活動を行った。

③子どもの居場所

学童保育以外の子育て支援事業の具体化として、地域の子どもの居場所づくりのため、調査および研究を行った。ニーズが高い4年生以上の居場所づくりのために、大蔵・なかよしクラブの3年生へアンケートを配布した。アンケートでは「居場所があれば利用したい」という声は強く、夏休みおよび春休みの居場所のあり方を検討するとともに、小学校および地域の自治会館等の施設利用が可能であるかを調査した。また、活用できる助成金・補助金等を調査し、町田市子ども教室助成事業等の情報を収集した。

さらに、学童保育クラブを拠点とした地域の子ども達への遊び場のあり方を検討し、1～2月に忠生地区：映写会、鶴川地区：木工教室、成瀬地区：伝承遊び教室を企画し、地域開放行事の一環として、実施した。

(2) 広報委員会

①広報紙「くれよん」(毎月発行)

広報委員会にて編集会議を行い、紙面をメンバー全員で検討し原稿を作成した。具体的な内容としては、新規クラブ紹介、職員紹介、ソフトボール大会など特集を組むとともに、お勧め絵本紹介、お出かけスポット紹介等、情報発信を行った。

②ホームページグループ

法人公式ホームページの充実のため、リニューアルにむけて検討を行った。当初、

年度内の更新を目指していたが、作業の遅れから、リニューアルにはいたらなかった。また、各クラブのホームページの定期更新をはかるため、毎回の委員会にて点検を行うとともに、「ぷちくれよんひろば」事業専用のホームページ作成にむけ検討を行った。新規クラブが開設したこともあり、パンフレットの改定作業を行った。

(3) 人事委員会

2010年度にむけて職員配置を検討し、各クラブ間の調整および面接を行った。

	内 容
10月8日	選考方法・スケジュール確認
11月29日	第1回面接、書類選考
12月13日	第2回面接
1月31日	職員配置決定、スケジュール確認

(4) 運営委員会

各クラブの様子や保護者会活動の情報を毎回の会議で報告し、交流するとともに、事務局や各委員会から提案された案件を検討し、確認・実施した。

	内 容
4月	新規クラブについて、指定管理者制度、委員会活動
6月	定期総会について、ソフトボール大会、委員会活動
8月	新型インフルエンザ対応、まちとも事業について、委員会活動
10月	新型インフルエンザ対応、まちとも事業について、委員会活動
12月	のびっ子クラブについて、保育指針改定、委員会活動
2月	ホームページリニューアル、町田指導員学校報告、保育指針改定

5) 主任会

毎月、統括主任を中心に地区別に主任ブロック会議を開催し、施設運営（事故対応、苦情解決、施設の維持・管理等）に関する情報共有および業務改善への指導を行った。

また、主任会を毎月開催し、職員研修、施設運営・組織運営に関する諸課題について検討、見直し等を行った。

	内 容
4月	2009年度研修計画、委員会の分担、非常勤職員業務標準化
5月	ぷちくれよんだよりについて、児童への与薬について、指定管理者募集
6月	指定管理者募集、クラブ外保育の起案書、土曜日保育の職員体制
7月	障がい児のバス停お迎え、保育指針改定、非常勤業務標準化
9月	障がい児のバス停お迎え、新型インフルエンザ対応、非常勤研修
10月	人事考課運用について、非常勤職員の業務標準化
11月	成瀬クラブ移転問題、利用者アンケート・業務改善、ヒヤリハット
12月	中期計画について、保育指針、2010年度事業計画
1月	非常勤研修、ぷちくれよんアンケート、地区別合同行事等
2月	2010年度事業計画・職員配置・役割分担、非常勤研修等

3月	2010年度研修について、ボランティア受入規定、研修報告書等
----	--------------------------------

6) 指導員会

職員教育および情報共有を目的に、統括主任が開催した。また、2008年度に引き続き、当法人の保育理念文書である「学童保育所保育指針」の改定を目的に、指導員会を中心に「保育指針改定プロジェクト」をつくり、検討を行った。

	テーマ
5月	2009年度事業計画について、ぷちくれよんだより、定期点検報告等
12月	定期点検報告、保育指針、町田指導員学校、ヒヤリハットについて
2月	町田指導員学校、定期点検報告、保育指針

2. 人材育成

1) 全国学童保育連絡協議会主催

	名称	場所	参加者
6月	全国学童保育指導員学校	大東文化大学	28名
10月	全国学童保育研究集会	立命館大学(滋賀県)	12名

2) 児童青少年課主催 研修会

	テーマ	場所	参加者
6月18日	身体に障がいのある子への基礎的な知識とその支援	市役所本庁	7名
7月13日	広汎性発達障がいの子への基礎的知識とその支援	すみれ教室	9名
9月28日	自閉症とダウン症について	森野分庁舎	7名
10月23日	町田市の震災対策について	森野分庁舎	4名
11月16日	通常学級へ通う軽度発達障害児への理解と支援	森野分庁舎	11名
11月18日 (指導員交流研修会)	①保育以外で日常の運営の中で気をつけていること ②日常の保育 ③イベントについて ④子どものケガ、事故への対応と安全管理について	森野分庁舎	3名 3名 3名 2名
11月20日 (指導員交流研修会)	①目ざす学童保育とは ②簡単にできる制作や科学実験について ③学校・保育園・関係機関や地域との関わり方 ④クラブでのルールについて	森野分庁舎	4名 5名 2名 2名
11月30日	保護者対応(クレーム等について)	森野分庁舎	5名
2月1日	大人数でできるゲーム・レクリエーション企画	公民館	3名

3) 職場内研修 (OFF-JT)

(1) 初任者研修

	テーマ	場所	参加者
4月28日	学童保育の制度、理念	つくし野	7名

5月21日	保育理念と記録	図 師	7名
7月2日	リスクマネジメント(事故対応)	つくし野	7名
9月30日	個人情報保護・苦情解決	高ヶ坂けやき	7名
11月12日	子育て支援	なかよし	7名

(2) 中堅者研修

	テーマ	場 所	参加者
5月21日	全児童対策事業	図 師	9名
7月2日	子どもの事故と法律	つくし野	8名
9月30日	虐待を受ける子への対応	子ども家庭支援センター	9名
11月12日	リスクマネジメント(安全管理)	なかよし	8名

(3) 管理者研修

	テーマ	場 所	参加者
5月21日	指定管理者制度①	図 師	8名
7月2日	指定管理者制度②	つくし野	8名
9月30日	ボランティアコーディネーターとは	高ヶ坂けやき	7名
11月12日	個人情報保護	なかよし	9名

(4) 教材研究

専門知識を深めること、および教材の充実を図るため、教材研究を行った。階層別に準備を行い「おすすめおもちゃ」(初任者)、「良質な図書とは」(中堅者)、「障がい児の教材」(管理者)をテーマに、2月4日に学習会を開催した。

4) クラブ間研修

以下の期間、クラブ間で常勤職員の研修を実施。保育交流を中心とした3日間の研修内容とした。

期 間	所 属	氏 名	研修先
11月24日～26日	金井	江川	なかよし
11月24日～26日	高ヶ坂けやき	松井	つくし野
12月8日～10日	鶴川	小島	そよかぜ

5) 資格取得 (SDS)

種 別	氏 名
上級救急救命講習	佐藤、駒井、佐山、青木、上野、梅山
普通救急救命講習	桐山、小島、池田、大野、松井、江川、鶴岡
水上安全法	木下、小島、河野

6) 非常勤研修

2009年度より、非常勤職員教育の一環として、主任会を中心に3回実施した。日常の保育での非常勤職員の役割および業務を研修の中で明らかにするとともに、保育業務に関する視点を深めた。

参加者のアンケートからは、保育は職員のチームワークで行うこと、中でも「報告・連絡・相談」の重要性を再確認したこと、その一方で、正規職員が把握している子ども

も・保護者に関する情報が非常勤職員に伝わっておらず、非常勤職員はどこまでかわかれればいいのか、業務の範囲に関する疑問や意見が寄せられた。

グループ討議形式により、情報交換ができたこと、他クラブとの比較ができたことが好評であった。さらに、子どものとの関わり方に関する研修内容の要望が多く、次年度の課題とする。

日 程	内 容	参加者	備 考
10月 6日	法人理念、保育理念、指定管理者制度、中期計画	54名	全体
11月13日・19日	日常の業務について(おやつ、日常の行事・取り組み、子どものトラブルへの対応、保護者対応)	59名	ブロック別
1月22日	ヒヤリハットの検討・障がい児の対応について	61名	ブロック別

7) その他 (OFF-JT)

時期	研修名	主 催	氏 名
7月	通常学級における発達障害児の理解と支援	町田の丘学園	青木、池田
7月	保護者支援と支援者のメンタルヘルス	すみれ教室	江川、小島
10月	子どもぜん息と食物アレルギー	東京都	青木
11月	主任・リーダー育成講座①	(株)日本経営	石田、梅山
1月	主任・リーダー育成講座②	(株)日本経営	石田、梅山
2月	ネットワークで支える各機関の役割と関わり方	子ども家庭支援センター	上野、梅山 北島

3. 啓発活動

1) ニュースの発行

(1) 広報紙「くれよん」の発行

法人の会員向けに、広報委員会による広報紙「くれよん」を毎月発行した。クラブの近隣保育園、小学校、町田市内の関連機関、「ぷちくれよんひろば」利用者、および学童保育を運営する他の法人へ配布を行う。また、印刷を外注したことにより、紙面の改善が図られた。

(2) ぷちくれよんだよりの発行

主任会を中心に、ぷちくれよんひろばを利用する保護者にむけて、子育てに役に立つ情報を中心に「ぷちくれよんだより」を4回発行した。

2) ホームページの充実

広報委員会を中心に、各クラブのホームページの定期更新を行い、保護者へむけて情報発信を行った。法人全体のホームページのリニューアルを目指したが、作業が遅れているため、次年度の課題とする。また、各クラブのページに関し、定期更新がはかられ

ないクラブがあり、サポート体制の検討が必要である。

3) 「日本の学童ほいく」誌の普及

日本の学童ほいく誌は日本で唯一の学童保育に関する専門雑誌である。2009年度は職員を中心に37部の購読申し込みがあったが、例年に比較し申し込み部数が減少しており、主任会にて普及の強化について検討を行う。

4) 町田学童保育指導員学校の開催

市内の学童保育指導員の交流および情報交換を目的とし、2月に第3回町田指導員学校を開催した。実行委員会形式としたが、実行委員会へ参加する他団体がなかった。

児童青少年課の協力のもと、市内全クラブへ参加のよびかけができた。当日は18クラブ84名の参加であった。

5) パンフレットの発行

広報委員会が改訂をした法人パンフレットを、10月～11月にかけて小学校で実施される就学時健診に約1,700部配布した。

4. 子育て支援事業

1) 緊急一時保護児童

学童保育クラブ緊急入会事務要綱に基づき、市より依頼があった場合、緊急一時保護を受け入れることとしているが、今年度は受入がなかった。

2) ふちくれよんひろば

地域の乳幼児とその保護者の「孤立した子育て」をなくし、子育て支援ネットワークづくりに貢献することを目的に、「ふちくれよんひろば」事業を7ヶ所で実施した。

午前中に施設を開放し、遊び場の提供を行ったが、9月から12月にかけて新型インフルエンザ流行のため中止が続き、参加が減少する傾向が見られた。

利用者のニーズの把握のために、1月に利用者へアンケートを配布した。次年度へむけて分析を行い、教材やプログラム、宣伝活動の見直し等に生かすことが課題である。

また、2009年度は桜美林大学の協力のもと、保育科の学生がなかよしクラブで実施する「ふちくれよんひろば」にボランティアとして参加した。

クラブ名	登録世帯数	
	08年度	09年度
金井	29	9
高ヶ坂けやき		15
図師		11
鶴川	27	9
どろん子	65	37
なかよし	33	22
成瀬	89	48
計	243	151

4. 保護者会活動への支援

1) 各保護者会と法人との懇談会

各クラブ保護者会相互の連携を深め、交流を図るとともに、法人との情報交換および連携を深めるために懇談会を定期的で開催した。今年度は、新規クラブである図師、つくし野、高ヶ坂けやきクラブ、および2009年度より運営が当法人から公立へと移行した相原たけの子学童保育クラブ保護者会より参加があり、保護者会活動の交流を行った。

	内 容
5月	指定管理者募集、定期総会について、1学期の行事について
7月	指定管理プレゼン報告、まちとも事業について、夏休みの行事
9月	新型インフルエンザ対応について、ソフトボール大会について
11月	成瀬クラブ移転問題、障がいのある子バス停のお迎え、保護者会役員体制
1月	延長保育について、修繕に関する要望書、保護者会連絡網等
3月	評議員会について、延長保育について

2) 交流行事

5月、どろん子・わんぱく・つくし野クラブ合同で運動会が開催され、交流を深めた。

10月、第6回ソフトボール大会が、各クラブ保護者会より参加した実行委員会を中心に、準備および当日運営のもと、行われた。新規クラブである図師、つくし野クラブもチーム参加し、ソフトボール大会をきっかけに交流が深まった。

当日は相原たけの子学童保育クラブ保護者会から参加があり、交流が図られた。

3) 新規受託クラブの保護者会との連携・支援

新規クラブである図師、つくし野、高ヶ坂けやきクラブの保護者会発足にむけ、職員を中心に支援を行った。つくし野クラブでは近隣クラブであるわんぱく、どろん子クラブとの交流行事も活発に行われるとともに、保護者会活動の情報交換も図られた。

高ヶ坂けやきクラブの保護者会発足の支援に関しては、法人による支援が不十分であり、クラブ職員に対しての援助のみになり、直接保護者を含めた対応になりきれなかった点が反省点である。

6. 関係団体・機関との連携

1) 行政との連携

事務局が窓口となり、児童青少年課と日常的な情報交換を行う。11月、成瀬学童保育クラブの移転に関し、協議を行った。また、児童青少年課主催の施設長会に出席し、他法人との情報交換・連携を行った。

町田市から依頼があり、第二次町田市子ども読書活動推進計画懇談会委員に職員を推薦し、「第二次町田市子ども読書活動推進計画」の策定にむけ、協力を行った。

2) 地域子育て支援ネットワーク連絡会との連携

年間を通して、地域子育て支援ネットワーク連絡会に主任が参加し、学校や保育園、民生児童委員等と、児童虐待防止および子育て支援に関する情報交換を行った。また学童保育クラブの在籍児童に関する具体的な支援に関して、子ども家庭支援センターと連携をとった。また、2月に開催された子ども家庭支援センター主催の講習会へ参加した。

3) 町田市学童保育を考える会 (考える会)

6月の考える会総会および9月開催の町田学童まつりへ参加した。

4) 町田市学童保育クラブ父母会連絡協議会 (父母連協)

父母連協が9月議会にむけて取り組んだ「都立町田の丘学園に通学する学童に対する、バス停車場所への迎えを、学童クラブ指導員の業務の一環として認めること」を求める請願への協力を行った。

5) 他の学童保育事業を行う法人との連携

NPO法人子育て・子育て支援タグボート(ころころ児童館)、町田市社会福祉協議会と日常的に情報交換を行った。

1月、他の法人へよびかけ、情報交換会を開催した。小山ヶ丘学童保育クラブ(景行会)、ころころ児童館、町田市社会福祉協議会(学童担当)、本町田・小山田学童保育クラブ(貴静会)、鶴二学童保育クラブ(明社会)より参加があった。各クラブでの職員体制、障がい児保育、おやつ代、乳幼児の子育てひろば等、様々な情報交換を行った。

今後も他の法人への参加よびかけを行い、定期的に開催していく。

7. 学童保育の充実にむけた運動の支援

町田の学童保育を充実させるために、1小学校区1学童保育クラブ以上の実現および大規模化する学童保育クラブの「分割」をめざす課題、4年生以上の保育受入れ等、諸課題に対し運動の支援を行うことを方針としているが、2009年度は具体的な活動を行っていない。

8. 会員拡大 (4月1日～3月31日)

正会員	団体会員	11団体	
	個人会員	63名	
賛助会員	個人会員	49名	計123名

9. 事業拡大

町田市では新規学童保育クラブは子どもセンター併設の場合を除き、指定管理者制度での運営となっている。町田市における学童保育クラブの指定期間が5年に延長されたが、当法人が長期にわたり学童保育事業を継続的に運営する保証はない。学童保育クラブの運営を中核としながらも、地域全体を視野に入れた子育て支援事業へ事業展開を行うことを目標に、2009年度より第1期中期計画をスタートした。

また、5月にこれまで相原地区で17年間、委託制度として運営されてきた大戸のびっ子学童保育クラブが指定管理者制度へと移行するにあたり、指定管理者の公募が行われた。

6月理事会で応募を決定し、7月にプレゼンテーションを行った結果、9月議会で指定管理者の指定を受けた。2010年度にむけ2月より大戸のびっ子学童保育クラブ職員との引継業務を行った。

Ⅱ. 学童保育事業

1. 事業展開

2009年度より高ヶ坂けやき、図師、つくし野クラブの指定管理者として運営を始める。開設にあたり、保護者の不安解消のため入会説明会を行う。保護者会発足にむけて各クラブでの支援を行い、5月に図師・つくし野クラブ、11月に高ヶ坂けやきクラブにて保護者会総会が開かれた。

11月、児童青少年課より、2010年度4月に成瀬クラブを成瀬中央小へ移転する方針が出され、当法人へ説明がなされたが、町田の丘学園のバス送迎に関する市の対応の遅れから、延期となった。また、そよかぜクラブ建替に関し、設計まで順調に進められていたが、市の当初予算に計上できないとのことで、延期となった。

2. 各クラブ事業報告 別紙参照

1) 地区別交流・合同行事

日程	内容	参加クラブ
5月9日	運動会	わんぱく・どろん子・つくし野
7月28日	ドッチボール	なかよし・図師
8月6日	映画会	つくし野・わんぱく
8月18日	紙飛行機大会	なかよし・図師
10月1日	運動会・コーナー遊び	どろん子・わんぱく・金森・金森第2
10月1日	遊びコーナー・出し物発表	金井・竹ん子・七国山
10月1日	ドッチボール・ゲーム等	高ヶ坂けやき、高ヶ坂、なんなる、南大谷
10月1日	ドッチボール・ゲーム等	そよかぜ・成瀬・すまいる・わかくさ学童
10月28日	いもほり	金井・ころころ
11月28日	オリエンテーリング・ゲーム	つくし野・南つくし野・ひまわり
1月23日	「案山子座」ワークショップ	つくし野・わんぱく

2) 地域開放行事

学童保育クラブで実施する行事に、地域の子（卒会生を含む）の参加を積極的に呼び掛け、地域開放行事を行った。

日程	内容	主催	参加
8月8日	親子工作教室	金井	19名
8月28日	ミステリーツアー	どろん子・つくし野 わんぱく	金森・金森第二・そよかぜ・ 高ヶ坂けやき他 592名
1月23日	親子工作教室	大蔵・金井・鶴川	90名
2月27日	伝承遊び教室	そよかぜ・成瀬・どろん子・ わんぱく・けやき・つくし野	64名

2月13日	木工教室	金井	13名
2月20日	映写会	なかよし・図師	44名

3. 苦情解決

当法人の苦情解決制度は原則として利用者を対象としているが、近隣地域からの苦情にも対応を行っている。今年度は以下の苦情が寄せられた。

クラブ	申出者	内容	対応
どろん子	近隣の方	路上駐車	職員よりお詫び
高ヶ坂けやき	保護者	職員への不満(児童への対応が悪い)	職員よりお詫び
高ヶ坂けやき	保護者	職員への不満(行事の連絡が遅い)	職員よりお詫び
大蔵	保護者	職員への不満(保護者への言葉かけが悪い)	職員よりお詫び
大蔵	近隣の方	ゴミの捨て方について	職員よりお詫び
わんぱく	近隣の方	遠足時のバス乗降車に時間がかかりすぎ	職員よりお詫び
高ヶ坂けやき	保護者	職員への不満(遊びのルール・管理を徹底してほしい)	職員よりお詫び
高ヶ坂けやき	保護者	職員への不満(子どもへの対応が悪い)	職員よりお詫び
高ヶ坂けやき	保護者	職員への不満(子どものトラブルについて報告がない)	職員よりお詫び
大蔵	保護者	職員への不満(子ども同士のトラブル対応)	職員よりお詫び
なかよし	保護者	職員への不満(ケガの報告がない)	職員よりお詫び
高ヶ坂けやき	保護者	職員への不満(話を聞いてくれない)	職員よりお詫び

4. 事故防止

1) 件数 (医療機関にかかった場合)

	児童				職員
	傷 害		賠 償		
	08年度	09年度	08年度	09年度	
大蔵	7	3	1	0	0
金井	1	2	0	0	0
高ヶ坂けやき	/	3	/	0	0
図師	/	3	/	0	1
そよかぜ	3	3	0	0	0
つくし野	/	2	/	0	0
鶴川	2	2	0	0	0
どろん子	2	2	1	0	2
第一なかよし	6	6	0	0	1
第二なかよし	4	6	0	0	0
成瀬	5	4	0	0	2
わんぱく	5	3	0	0	0
計	35	39	2	0	6

2) ヒヤリハット

主任会を中心に事故防止のために「ヒヤリハット」に関する研究を行った。過去5年

間の子どものケガ・事故に関するデータをもとに、各クラブでの事故の傾向および対策を検討し、日常の事故防止に活用した。

また、キャンプでの川遊び、プール等、水遊びに関する事故防止マニュアルを作成し、夏休みの事故防止に努めた。今後もヒヤリハットに関する研究を継続していく。

5. その他

1) 業務改善 (詳細は各クラブ事業報告書参照)

7月に実施した利用者アンケートをもとに、各クラブで施設運営・保育サービスの向上を目的とし、業務改善に取り組んだ。非常勤職員を含めた職員会議で業務改善の話し合いを行い、保育環境の整備および施設設備の修繕、防犯・防災に関する安全対策等の改善を行った。

また、統括主任および事務局による各クラブの定期点検を行い、個人情報の適正な管理、衛生管理、文書管理、物品管理および整理整頓、災害時安全対策等の指導を行った。

主任会を中心に非常勤職員の業務標準化を検討し、全クラブでの統一を図るとともに、常勤職員の業務との整理・見直しを行った。

2) ボランティア等の受入れ

(1) ボランティア

クラブ名	時期	区分	内容	人数	備考
大蔵	通年	地域の方	児童の遊び相手	1	個人
大蔵	夏休み	高校生	児童の遊び相手	2	個人
大蔵	3月	大学生	児童の遊び相手	1	個人
金井	通年	地域の方	将棋教室・遊び相手	2	個人
けやき	夏休み	中学生	児童の遊び相手	1	個人
そよかぜ	通年	「虹の会」	絵本の読み聞かせ		団体
そよかぜ	10月	地域の方	マジックショー	2	個人
つくし野	夏休み	中学生	児童の遊び相手	1	個人
つくし野	夏休み	大学生	児童の遊び相手	2	個人
鶴川	9～3月	花てまりお話の会	絵本の読み聞かせ	2	個人
どろん子	8月	大学生・社会人	ミステリーツアー	2	個人
どろん子	10・11月	「折り鶴園」	施設の草取り等		団体
なかよし	通年	「おはなし会」	絵本の読み聞かせ	3	個人
なかよし	7月	地域の方	手品ショー	2	個人
成瀬	6・11月	「かえで文庫」	お茶会		団体
わんぱく	通年	「虹の会」	絵本の読み聞かせ		団体

(2) 中学生職場体験

教育委員会の要請で中学2年生の職場体験実習に協力した。実施は以下のとおり。

時 期	クラブ名	人 数	時 期	クラブ名	人 数
9月	大蔵	2	11月	鶴川	3
	図師	2		どろん子	2
	鶴川	3		成瀬	2
10月	なかよし	2		わんぱく	2
11月	大蔵	3	1月	大蔵	3
	そよかぜ	2		金井	3

3) その他

8月下旬より、新型インフルエンザに感染する児童が各クラブで増加し、12月までの期間、東京都の感染症予防マニュアル、町田市の対策マニュアル等に従い、保護者の協力のもと、児童の健康管理、施設の消毒等を徹底した。

Ⅲ. 児童数と職員体制

1. 児童数および職員配置 (4月1日時点)

クラブ名	職 員			児 童 数			
	正規	専任	非常勤	4月1日	増	減	3月31日
大蔵	2	2	4	100	5	7	98
金井	2		5	49	9	8	50
高ヶ坂けやき	2		1	37	8	14	31
図師	2		3	52	5	5	52
そよかぜ	2		6	58	3	3	58
つくし野	2		0	22	4	3	23
鶴川	2		3	65	3	7	61
どろん子	2	2	11	91	1	8	84
第一なかよし	2		2	50	3	7	46
第二なかよし	1	1	4	60	5	10	55
成瀬	2		7	25	2	2	25
わんぱく	2		4	60	2	5	57
事務局	2		0				
計	25	5	50	669	50	79	640

2. 人事

1) 採用

4月1日	正規職員	1名	金井
		1名	高ヶ坂けやき
		1名	図師
		1名	鶴川
		1名	どろん子
		2名	なかよし
		1名	わんぱく

4月1日	専任職員	1名	大蔵
	非常勤職員	3名	金井
		1名	高ヶ坂けやき
		1名	図師
		2名	つくし野
		2名	鶴川
		3名	どろん子
		1名	なかよし
		1名	成瀬
		1名	わんぱく
5月12日	非常勤職員	3名	鶴川
		1名	成瀬
6月16日	非常勤職員	1名	金井
7月15日	非常勤職員	1名	高ヶ坂けやき
9月14日	非常勤職員	1名	成瀬
10月9日	非常勤職員	1名	成瀬
11月1日	産休代替	1名	成瀬
	非常勤職員	1名	金井
		2名	成瀬
		1名	わんぱく
11月16日	非常勤職員	1名	大蔵
		1名	金井

他、夏季バイト 4名

2) 退職

4月25日	非常勤職員	1名	高ヶ坂けやき
5月15日	非常勤職員	1名	成瀬
		1名	鶴川
6月29日	非常勤職員	1名	第一なかよし
9月4日	非常勤職員	1名	鶴川
9月30日	非常勤職員	1名	成瀬
10月31日	非常勤職員	1名	成瀬
11月28日	非常勤職員	1名	大蔵

1月18日	非常勤職員	1名	成瀬
2月26日	非常勤職員	1名	金井
3月31日	正規職員	1名	図師
	専任職員	1名	大蔵
		1名	どろん子
	非常勤職員	2名	金井
		1名	そよかぜ
		1名	鶴川
		3名	成瀬
		1名	どろん子

3) 異動

4月1日	正規職員	高ヶ坂けやき主任	どろん子より
		高ヶ坂けやき	大蔵より
		図師主任	なかよしより
		つくし野主任	たけの子より
		つくし野	たけの子より
		どろん子	なかよしより
		なかよし	たけの子より
		成瀬主任	わんぱくより
		成瀬	金井より
		わんぱく	なかよしより
		事務局	鶴川より
	専任職員	なかよし	わんぱくより
	非常勤職員	金井	鶴川より
		高ヶ坂けやき	成瀬より
		図師	たけの子より
		図師	たけの子より
		図師	なかよしより
		なかよし	たけの子より
5月11日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	どろん子より

3. サポート体制

疾病等の理由により職員体制が確保できない場合、事務局および他クラブよりサポート体制をとった。

期 間	サポート先	所 属
4月7日	高ヶ坂けやき	どろん子非常勤職員
4月14日・30日	鶴川	金井非常勤職員
4月28日・30日・5月1日	高ヶ坂けやき	事務局正規職員
5月7日	鶴川	そよかぜ非常勤職員
5月1日～26日(5日間)	鶴川	金井非常勤職員
10月2日・7日	どろん子	事務局正規職員
10月2日・16日	どろん子	わんぱく非常勤職員
10月28日	どろん子	高ヶ坂けやき非常勤職員
12月3日	函師	鶴川主任職員
12月15日	どろん子	事務局正規職員
12月16日	函師	つくし野主任職員
12月24日	成瀬	そよかぜ主任職員
3月11日・12日・15日	どろん子	事務局正規職員